

会 議 録

会議の名称	平成28年度 第6回 栃木東部地域会議
開催日時	平成28年11月22日 開会19時00分 閉会19時56分
開催場所	栃木市大宮公民館 大交流室
出席委員氏名	五十嵐 記代子、大橋 哲夫、大山 恵久、荻島 哲、柏崎 桂二、 柏崎 章吉、神戸 透、島田 秀夫、竹澤 克元、埴生 才喜、藤本 紀子
欠席委員氏名	神田 誠司、倉持 好則、武政 晃、内藤 實、谷中 俊太郎
センター職員 職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 出井 正一、 大宮公民館長 伏木 広安、国府公民館主査 毛塚 隆
その他出席者等	
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度地域予算事業計画書について ・栃木東部地域会議だより第3号について ・『『後世に残したい栃木市の文化資源48選』に掲載する地域の文化資源の選定について（意見聴取）』の回答について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者・議題・発言内容・決定事項	
1 開会	司会：出井 所長
2 あいさつ	柏崎 会長
3 議事	<p>議 長 ・本日の出席委員数について、事務局から報告願う。</p> <p>センター・栃木東部地域会議の委員総数は16名のところ、只今の出席委員は10名である。 なお、神田委員、倉持委員、内藤委員からは所用のため欠席、また、藤本委員からは30分ほど遅れるとの連絡をいただいている。(その後、委員1名が到着したため、出席委員は11名になった。)</p> <p>議 長 ・全委員の過半数の出席であるため、本日の会議は成立している。</p> <p>(1) 平成28年度地域予算事業計画書について</p> <p>議 長 ・事務局（センター）から説明願う。</p> <p>センター・(資料1～5ページに基づき説明)</p> <p>議 長 ・10月8日に（地域自治交流会で）計画書を提出した。来年3月の議会で承認をいただくことになる。また、大宮運動広場の休憩所が完成したそう。</p> <p>センター・29日に建築関係の検査や契約検査課の完了検査が終わると囲いが取れて中に入れるようになる。次回の地域提案事業の参考にもしていただきたい。</p>

議長 ・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員 ・完成した休憩所を委員全員で見学してはどうか。

委員 ・基礎を作っている段階から見ているが、この休憩所にしては大き過ぎるくらいだと思った。

(2) 栃木東部地域会議だより第3号について

議長 ・事務局（センター）から説明願う。

センター・(別紙地域会議だより第3号に基づき説明) 前回の会議で小規模特認校の案内について掲載したいとの意見があったことから、オープンスクールの日程も合わせて掲載した。両校ともオープンスクールを終えたが、その様子がお分かりの委員さんからお伝えいただきたい。

委員 ・両校ともオープンスクールを2回ずつ行い、そのうち大宮南小は外国人（アメリカ・フィリピン・ブラジル）の講師を呼んで、国の文化や歌などを各教室で披露し、保護者も熱心に見ていた。バザーやカレーが盛況だった。

大宮南小は来年度も十数名の児童が学区外から入学する予定である。

委員 ・国府南小は英語の先生を呼んで英語教室を開催したようだ。

委員 ・国府南小も学区外から2、3名通っていると聞いている。

(3) 『後世に残したい栃木市の文化資源48選』に掲載する地域の文化資源の選定について（意見聴取）」の回答について

議長 ・事務局（センター）から説明願う。

センター・(資料6ページに基づき説明)

議長 ・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員 ・48選の看板は全て統一したデザインのものを作るべきだ。文化資源の所在地の入口が分かるように道案内の環境を整えるとよい。

委員 ・何年か前に看板を立てたが、白い杭が残っているだけの所もあり、立てっ放しのようだ。

委員 ・看板には文化資源の説明文も載せて欲しい。

委員 ・市外、県外だけでなく、市民でさえ文化資源が分からない。

委員 ・看板の大きさは決まりがあるのかも知れないが、小さいものが多い。国庁跡の看板も小さい。気付かずに通り過ぎる人も多いのではないか。

委員 ・農村広場の看板の方が大きい。

委員 ・食堂の前辺りの道路に看板があるとよい。

センター・既存の看板を設置した当時は（合併前でもあり）看板が統一されていなかったが、都市計画課で市内の看板を統一する取組を行なっているので、今後作られるものは色やデザインが統一されたものになる。

委員 ・看板やカーブミラーが私有地に設置されている箇所があるが、その地主の代替わりでモガリが繁殖し、ミラーが塞がれている。看板の設置場所については数年先も見越して慎重に検討すべきである。

(4) その他

(地域会議委員の選任について)

センター・島田委員が11月30日をもって民生委員・児童委員を退任されるのに伴い、地域会議委員も退職される。後任の委員は任期が来年3月までで、市の民児協に推薦依頼をする予定である。また、来年3月で地域会議委員の任期満了となり、栃木市地域づくり推進条例第6条第2項の各号により次期委員の選出手続が必要となる。1号委員(団体推薦)は、来年2月中に候補を推薦いただくよう各種団体に通知を出す。2号委員(学識経験者)は、センターとしては引き続き委員としてお願いしたい。3号委員(公募)は、広報とちぎ1月号に掲載して公募する。センターとしては現委員の皆さんに再応募をいただきたい。4月には委嘱状交付式が予定されている。

議長・何かご意見・ご質問があればお願いしたい。

委員・民生委員は11月で任期が終わるが、民生委員を辞めても3月まで地域会議委員でいられないのか。

センター・団体推薦の地域会議委員については、団体に所属しなくなると委員としての要件を満たさなくなるので、ご理解いただきたい。

委員・私は来年で団体の代表を退くが、団体に入っていれば地域会議委員を続けられるのか。

センター・団体に入っていればよい。団体には2月いっぱいまで次期地域会議委員を推薦していただく。

委員・民児協(民生委員児童委員協議会)の選出枠は、国府と大宮で2年ずつ交互にできないか。来年4月からの2年間は、大宮地区の民児協からの団体推薦としたい。11月28日に全17地区の民児協の会長が集まって、役割分担を決める。そこで地域会議委員をどの地区から出すかなども決める。

委員・民生委員の枠は一つだけなのか。大宮と国府で二枠にできないのか。

センター・東部地域として1名となっている。

委員・体協も同じか。

委員・4月からは大宮の民児協として推薦されたい。公募枠は国府でお願いしたい。民生委員は厚労省管轄だから改選時期は動かしてくれない。

委員・大宮と国府で8名ずつが望ましい。

委員・東部地域の民生委員の枠を二つにすることはできないか。

委員・安協は、次期は大宮支部から委員を推薦するのではないか。

委員・安協という枠はなくて、国府地区の中で安協から1名出すのがよいと決めたものだ。民児協が東部地域で1名という枠があるのとは異なる。

委員・大宮は団体が多いので、国府から委員が出ていない団体から委員を出してバランスをよくしようとした。

(まちづくり実働組織について)

議長・前回の会議でも話したが、まちづくり実働組織は、まずは国府地区で認定を受けてはどうか。

委員・大宮は、この話の正式な会議は開いていないが、国府の進み方を見てから検討したい。実働組織を複数にすることで補助金が減るのは残念に思う。

議 長 ・ 国府地区まちづくり協議会の次回の会議で実働組織についての下承をいただいて、市に提出する方向で進めたい。

(懇親会について)

委 員 ・ 今年は懇親会を行うのか。

委 員 ・ 本音で話せるのが懇親会なので、今年も行いたい。

委 員 ・ 懇親会で良い話が出ると思う。

委 員 ・ 辞職される島田委員さんにも出席していただきたい。

議 長 ・ 12月22日(木)で、1人5,000円くらいで場所は事務局(センター)で手配をお願いしたい。

4 その他

センター・次回会議は1月25日(水)午後7時から国府公民館で開催する。 以 上